

2月例会報告

2月11日（土） 午後2時～午後5時 東大駒場18号館ホールにおいて、2017年度初となる2月例会が催された。恒例の冒頭の「詩朗読&スピーチ」は——熊沢加代子（東京都）・幸田和俊（栃木県上三川町）・高橋絹代（静岡市）の三氏。

5年前の2012年、日本詩人クラブが2009年度の「国際交流インド」の発展的事業として、タゴール生誕150周年を祝うインドを訪問団を組んで訪れた「タゴールの故郷を訪ねる旅」の途上、タゴール国際大学での交流で知り合った日本学院助教授シュディプト・ダスも新婚の奥様を伴って、高橋絹代さんのご案内で参加された。

しかしながら主講演の高柳 誠氏が発熱を伴うインフルエンザで急遽、欠席の已むなきに至ったことは口惜しかった。太田理事長・下川敬明両氏が、労作の一部を朗読、武子会長が高柳詩論についての小講演を行い、会場とのディスカッションを試みることで、高柳氏の貴重なヴィジョンを一部なりとも分かち合うことができた、と思う。詩を書くものにとっては心に響く言説が多々あり、氏の近著『詩論のための試論』を手にとってみたいと思った方々は多かったことだろう。

次回の三月例会は3月11日（土）午後2時より、「あの日」からちょうど6年目の当日、川口晴美氏をお迎えして「3・11と詩とサブカル」と題した講演をお聞きする。トップ画面左欄の「3月例会予告」をご参照いただきたい。

♣例会終了後には、ファカルティ・ハウスのレクチャーホールで懇親会が行われた。



武子会長の挨拶



朗読1・熊沢加代子氏（東京）

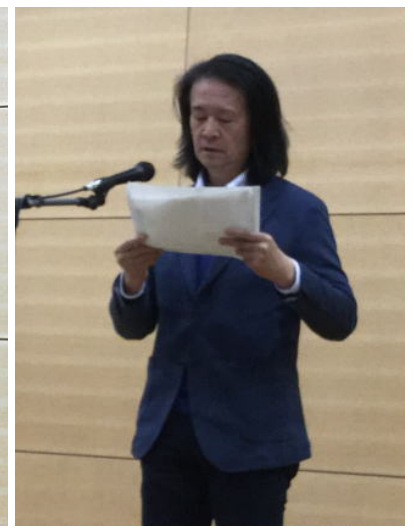


朗読2・幸田和俊氏（栃木県上三川町）



朗読

3・高橋絹代（静岡市）



例会担当・福岡理事&MCの川崎芳枝・長尾雅樹両氏
下川敬明氏による朗読

太田理事長の朗読とお話



↑ 武子会長の小講演&会場風景 ↓



パーティ会場へ移動



MC/長谷川総務担当理事



元会長・比留間一成氏



タゴール大学日本学院助教授ダスさんの紹介



池日本詩人クラブ 2017年 2月 例会のご案内

日時 2017年2月11日(日) 14時～17時 会員・会友無料 一般500円

会場 東大駒場 18号館ホール

(三井の道路「駒場東大前」下車、東大駒場右手直進21KOM2020202号棟、11号4号)

例会后は、フェリスアイハウスで交流会(懇親会)があります。会費1000円

詩朗読&スピーチ 椎沢雄次郎氏(東京都)

幸田和博氏(栃木県上野市)

高橋新代氏(静岡県)

講演

「詩論のための試論」

講師 高柳誠氏

講師プロフィール

高柳誠「たのやなぎ まこと」氏

1900年近江郡東郷生まれ。同志社大学文学部日文学専攻卒業。母事に『アリスランド』(沖泉舎 1960年)、『母
子定て永高宮』(博文堂 1962年、11氏著)、『原野の肖像』(雄山閣 1988年、高柳誠著)、『
自然の風景』(皇朝社 1992年)、『葉』(青林堂 1995年)、『夢と恋とるゝ』(清林堂 2000年)、『
空うら若くする』(雄山閣 2010年)、『大風の色、火の赤くはるかなさ、山の風』(雄山閣 2012年)
など、前後編二刷作『光るの夜明け』『無言の朝晩』『星の輝き』(雄山閣 2015年)で俳句協会
会賞を受賞。2004年以降、ドイツを舞台で劇団を創設。評論に『リーメンシュタイン―音楽舞台の劇作家』
(五洲書院 1999年)など。2004年には『高柳誠 高柳誠』、『高柳誠 高柳誠』(雄山閣)、『詩論のた
めの試論』(王冠大学出版部)を刊行。



例会担当理事 富岡悦子

[[トップページ](#)]